

## 富に関する教え④ 金持ちと乞食のラザロ(1)

ルカの福音書16:19-31  
2013,7,28 HKJCF

### 概観

序)イエス様の譬え:①逆転劇②不正な管理人の譬えの延長 変化:逆転:友(愛)→聖書

- 1、譬えの意味
- 2、関係の重要性
- 3、聖書の役割
- 4、適用

### I 譬えの意味

- 1、金持ちとラザロ:対照的な2人 19-21
  - 2、ハデス←→パラダイス 22-3
  - 3、死(終末):逆転 24-6
  - 4、ラザロへの依頼:特別扱い 27-8
  - 5、聖書:福音的な適用の重要性 29-31
- ⇒この譬えで不正な管理人の譬えと金を愛するパリサイ人への教えが統合される

### II 関係の重要性

- 1、金持ちとラザロ:断絶(無関心・利用)
- 2、地上の人生と天国(神の国)の関係  
救いはイエス様の赦し故、救われた者(弟子)の生活はイエス様の愛故←福音!!  
ヨハネ15:12、マタイ25:31-46
- 3、隣人愛の3段階:福音信仰は愛で実証
  - ①報いの追及 マタイ6:2
  - ②報いを直接求めず マタイ6:1-4
  - ③行った愛を数えず マタイ25:40

### III 聖書の役割

- 1、地上の生活(小事)と神の国(大事)
- 2、人間関係の重要性:救いの実証として
  - ①地上の祝福(富・健康・業績)>愛の関係
  - ②隣人愛は神様から受けるもの
  - ③隣人愛は救いの原因ではなく結果
- 3、聖書:地上の基準から救いへの逆転
  - ①兄と弟 ②不正な管理人の変化
  - ③金持ちと乞食 例)パウロと悪人正機説

### IV 適用

- 1、富を自己義認や自己卑下、隣人や自分の評価の基準としてないだろうか?
- 2、どうすれば神様から託された富を用いて自他の人生を真に豊かなものへと変え得るだろうか? もう一度具体的に考えてみましょう